

学生の復興支援活動への各大学の取組に関する調査(回答57大学)

平成24年1月20日現在

ページ

1. 各公立大学の学生ボランティア派遣について	(別添)
2. 学生ボランティア派遣の検討段階における課題	1
2-1 大学の行う事業に関して	
2-2 学生が個人で参加する活動に関して	
3. 東日本大震災のボランティア活動について単位認定等の取組みを行っているか	8
取組みがある場合	
3-1 科目名、配当年次、認定要件、単位の取扱(要卒単位等)等の概要	
3-2 単位認定を行う場合の問題点について	
4. サークル等で実施しているボランティア活動について	15
震災復興支援に限らず、大学で把握している学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について	
5. 学生ボランティアや復興支援事業に関しての今後の課題	27
【参考】	
23公大協第102号 学生の復興支援活動への各大学の取組に関する調査(照会)	30
(平成23年11月16日付)	

2. 学生ボランティア派遣等について大学として何らかの検討が行われた場合についてお尋ねします。検討の際、課題となった事項があればご記入ください。

No.	大学名	2-1 大学の行う事業に関して 例)被災地の状況把握、学生の安全面、 経費、活動内容、活動拠点等	2-2 学生が個人で参加する活動に関して 例)自主参加の確認方法、被災地の状況 についての情報提供、安全面への配慮、 経費補助、活動内容・活動拠点の把握に ついて等
1*	札幌医科大学		
2	釧路公立大学		
3*	公立ほこだて未来大学	特になし	特になし
4	名寄市立大学		
5*	札幌市立大学		
6*	青森県立保健大学	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握(ニーズ、マッチング) 経費(移動手段の確保) 引率教職員の確保 ボランティア保険の加入について 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアに関する事前講習等への不参加学生の活動把握 活動先の情報提供 安全面への配慮 ボランティア保険の加入について
7*	青森公立大学	—	夏季休暇中の災害ボランティア参加に関する注意喚起 <ul style="list-style-type: none"> 情報収集の徹底 ボランティア保険への加入の徹底 参加計画立案の徹底(無理のない参加計画や家族の了承等)
8*	岩手県立大学	【支援要請への対応】 災害復興支援センターを設立し、支援要請の窓口とした。 【活動経費等支援の検討】 災害復興支援センターが、経費・物資の支援を行うこととした。 【安全対策の検討】 災害復興支援センターが、ボランティア活動保険への加入手続き支援、事前研修等を実施することとした。 【活動拠点等の検討】 現地の活動拠点は設けず対応することとした。	【支援策の検討】 以下の支援を行うこととした。 <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動保険への加入手続き 事前研修等の実施 復興支援ボランティアバスの運行 マスク、ビブス、軍手等の必要物品の貸与 【活動状況の把握】 以下の取り組みをしているが、全体の把握は困難である。 <ul style="list-style-type: none"> 学生ボランティアセンターから情報収集、学生個人にメールで活動状況の照会等
9*	宮城大学	①被災地のニーズに合致したボランティア活動を行うこと ②学生が心身とも安心・安全に活動できること ③装備品、交通費、宿泊費などの経費	①学生個人の任意の活動になるので活動自体の把握 ②①の活動が把握できた場合は、安全面への配慮 ③他団体との関わり(ボランティア団体になりすぎている組織との関わりはないか)
10*	秋田県立大学	経費、活動内容	活動内容・活動拠点の把握について、経費補助、自主参加の確認方法
11*	国際教養大学	被災地の状況把握、学生の安全面、経費、活動内容、活動拠点	主参加の確認方法、被災地の状況についての情報提供、安全面への配慮、経費補助、活動内容・活動拠点の把握
12*	山形県立保健医療大学	—	—
13*	福島県立医科大学	活動拠点、ボランティア保険の補助、需要(ボランティア)の紹介	特になし
14*	会津大学	特に変更はありません。	学生の安全面への配慮、現地の状況把握、現地への交通手段が課題になりました。
15	茨城県立医療大学		

2. 学生ボランティア派遣等について大学として何らかの検討が行われた場合についてお尋ねします。検討の際、課題となった事項があればご記入ください。

No.	大学名	2-1 大学の行う事業に関して 例)被災地の状況把握、学生の安全面、 経費、活動内容、活動拠点等	2-2 学生が個人で参加する活動に関して 例)自主参加の確認方法、被災地の状況 についての情報提供、安全面への配慮、 経費補助、活動内容・活動拠点の把握に ついて等
16	群馬県立女子大学		
17	群馬県立県民健康科学大学	—	参加する場合、事前に大学事務局に相談をすることとしている。
18*	高崎経済大学	例に同じ。その他として、交通手段、宿泊場所、保護者の同意。	特になし。
19	前橋工科大学	—	—
20*	埼玉県立大学	—	活動経費の補助(ボランティア参加費、保険代を大学が負担)
21	千葉県立保健医療大学	—	—
22*	首都大学東京	—	ボランティア活動をする際は、事前に参加団体名・場所・期間等を学生サポートセンターに届け出るよう周知している。また、保険への加入を指導している。
23*	産業技術大学院大学	該当なし	該当なし
24	神奈川県立保健福祉大学		
25*	横浜市立大学	大学が企画する形での学生ボランティアの派遣は実施していません。(下記3.のアクティブ・プランニング実習は、ボランティアに限らず、さまざまな活動を対象としています。その枠組みのなかで、ボランティア活動を行う学生は、自身で計画書を作成し実行します。)	ボランティア学生の参加者状況、活動内容、日程等の把握が重要であること、および後日参加する学生のために情報提供の必要性があるとの認識から、出発前に「ボランティア活動届出書」、帰還後に「ボランティア活動報告書」の提出を義務付けています。また、危機管理上の配慮から、ボランティア保険への加入も義務付けています。
26	新潟県立看護大学	なし	なし
27*	新潟県立大学		
28*	山梨県立大学		
29*	都留文科大学	なし	なし
30	長野県看護大学	なし	なし
31	富山県立大学		
32*	石川県立看護大学		
33*	石川県立大学	検討なし	検討なし
34*	金沢美術工芸大学	—	ボランティアで参加する学生に対して、経費補助を行った。 (補助金額:移動日を除き1日につき、1,000円)
35*	福井県立大学	被災地の状況把握、学生の安全面、活動拠点について検討課題となり、大学単独での実施は見合わせ、県内の大学で作る大学連携リーグのボランティア派遣事業に参加することとした。	被災地の状況把握、学生の安全面、活動拠点について検討課題となり、大学単独での実施は見合わせ、県内の大学で作る大学連携リーグのボランティア派遣事業に参加することとした。
36*	岐阜県立看護大学		

2. 学生ボランティア派遣等について大学として何らかの検討が行われた場合についてお尋ねします。検討の際、課題となった事項があればご記入ください。

No.	大学名	2-1 大学の行う事業に関して 例) 被災地の状況把握、学生の安全面、 経費、活動内容、活動拠点等	2-2 学生が個人で参加する活動に関して 例) 自主参加の確認方法、被災地の状況 についての情報提供、安全面への配慮、 経費補助、活動内容・活動拠点の把握に ついて等
37	情報科学芸術大学院大学	該当なし	該当なし
38	岐阜薬科大学	該当なし	個人で保険に加入すること
39*	静岡県立大学	⇒大学の主体事業として学生ボランティア派遣は該当なし。 ボランティア協会や社会福祉協議会等の 団体と大学が協力し、数十回にわたり学 生を派遣したが、交通費、保険料等の経 費補助について課題が残った。活動内 容については、大学が主体で報告会を 開催したことで情報の共有が図られた。	⇒自主参加者の確認方法。費用補助 の問題。
40*	静岡文化芸術大学	—	安全面への配慮→教員が同行し、指導・ 助言を行う
41*	愛知県立大学	①派遣先の状況把握・活動拠点の下見 ②岩手県立大学のコミュニケーション ③経費 ④学生ボランティアの安全確保 ⑤学生への周知方法	—
42*	愛知県立芸術大学	「いわてGINGA-NETプロジェクト」実 行委員会が参加を呼びかけたボランティ ア活動に参加する学生を支援したが、支 援に当たっては、学生の安全が十分に確 保される活動内容等であるかどうかを課 題となり、その点を確認した上で、支援を 実施した。	特になし。
43*	名古屋市立大学	特にありません。	特にありません。
44*	三重県立看護大学	「いわてGINGA-NETプロジェクト」による 学生ボランティアの派遣を検討した際 に、活動拠点、活動内容および被災地の 状況については、インターネット等により 事前に情報を得ていましたが、現地まで の移動手段の確保、交通費や現地活動 費の負担、ボランティア団の引率体制等 が課題となっていたため、学生委員会お よびボランティア派遣にかかる実行委員 会において検討を行いました。	ボランティアに個人で参加する場合につ いては個人責任となっており、参加にあ たっての届出を義務付けしていないた め、参加の有無、活動内容・活動拠点の 把握等はありません。 なお、本学の地域交流センターでは、学 生のボランティア活動を支援する取組を 行っており、ボランティアに参加した学 生からの活動報告書が提出された場合は、 図書カード(500円)の交付を行うことと しています。

2. 学生ボランティア派遣等について大学として何らかの検討が行われた場合についてお尋ねします。検討の際、課題となった事項があればご記入ください。

No.	大学名	2-1 大学の行う事業に関して 例) 被災地の状況把握、学生の安全面、 経費、活動内容、活動拠点等	2-2 学生が個人で参加する活動に関して 例) 自主参加の確認方法、被災地の状況 についての情報提供、安全面への配慮、 経費補助、活動内容・活動拠点の把握に ついて等
45*	滋賀県立大学	被災地の状況把握、活動内容、学生の安全面において、十分な情報が得られなため具体的な検討に入れなかった。	<p>夏季休業前に、精通者を招き、災害復興支援ボランティア活動事前説明会を開催し、現地の状況、活動参加における留意事項などを説明した。</p> <p>大学において、ボランティア活動で一定の条件を満たせば、単位認定を行うこととした。単位認定申請しない学生に対してもボランティア参加届の提出を求め、学生のボランティア活動参加状況の把握に努めた。</p> <p>また、滋賀県立大学後援会(保護者会)からは現地への交通費の一部およびボランティア保険料に対して助成し、大学生生活協同組合では、学生への情報提供等を行った。</p> <p>その他、本学学生自治会の主催による情報交換会、交流会、報告会等も開催された。</p>
46*	京都府立大学	被災地の状況把握が困難であること。2次災害の危険性があること。	<p>学生が個人的にボランティア活動に参加する場合は大学への事前届出と結果報告を指導。併せて、ボランティア保険への加入の義務化。</p> <p>京都災害ボランティアセンターと連携し、ボランティア活動参加希望学生(自力での参加が困難な学生)については上記センターを通してボランティア活動に参加させる。</p>
47*	京都府立医科大学	—	大学への事前届出及び事後報告、ボランティア活動保険への加入、保証人の同意の有無
48	京都市立芸術大学	—	—
49*	大阪府立大学	<p>【活動経費等支援の検討】 大学後援会及び大学生協からの支援</p> <p>【安全対策の検討】 ボランティアセンターが、ボランティア活動保険への加入手続き並びに事前研修等を実施</p>	—

2. 学生ボランティア派遣等について大学として何らかの検討が行われた場合についてお尋ねします。検討の際、課題となった事項があればご記入ください。

No.	大学名	2-1 大学の行う事業に関して 例)被災地の状況把握、学生の安全面、 経費、活動内容、活動拠点等	2-2 学生が個人で参加する活動に関して 例)自主参加の確認方法、被災地の状況 についての情報提供、安全面への配慮、 経費補助、活動内容・活動拠点の把握に ついて等
50*	大阪市立大学	<p>①被災地の状況把握と派遣先の決定 震災直後に設置した「災害支援対策会議」において、5月に派遣した先遣隊の報告から、受入先の社会福祉協議会等の体制や、大学の設置団体である大阪府が釜石市に対口支援していることなどを踏まえ、岩手県釜石市へ学生ボランティアを派遣することに決定した。</p> <p>②学生の安全面の確保 事前研修会を開催し、外部講師や既に現地で活動した学生等により被災地での活動の心構えや安全衛生面での注意事項について研修を行った。 また、活動中の学生の安全を見守るため、教員1名、職員2名が引率者として同行した。</p> <p>③経費 大学として派遣するという性質上、学生にも一部負担を求めるが、基本的には大学負担とした。</p> <p>④宿泊場所 夜行バスによる長時間の移動後、夏期の被災地での活動になることから、学生の疲労の回復などの点を考慮し、体育館等での寝泊りではなく旅館を宿泊場所とした。</p>	<p>①自主参加の確認方法、活動内容・活動拠点の把握について 個人としてボランティア活動を行う学生には、事前届出書と事後報告書の提出を求めることとした。</p> <p>②被災地の状況についての情報提供 学生担当に問い合わせがあった場合には、釜石市についての情報を提供したり、また、大阪市社会福祉協議会の情報を提供した。</p> <p>③安全面への配慮 学生担当に問い合わせがあった場合には、注意事項を連絡した。</p> <p>④経費補助 経費補助は行っていない。</p>
51	兵庫県立大学	<p>ボランティアを派遣するに当たっての派遣先の安全面や経費の問題については、本学の場合、ひょうごボランティアプラザ並びに、宮城大学と共催・協働してボランティア派遣を実施しており、派遣先の状況把握や学生の安全面についての情報の提供については、現地の宮城大学から情報を得て、参加学生には事前研修で情報提供している。また、主要な経費であるバス借上げ経費は、共催者であるひょうごボランティアプラザが負担している。</p>	<p>学生が自主参加した場合、授業を欠席する場合は、「活動計画書」を事前に提出させている。被災地の状況についての情報提供、安全面への配慮、経費補助、活動内容・活動拠点の把握については、大学としては行っていない。</p>
52*	神戸市外国語大学	—	<ul style="list-style-type: none"> ・活動主体となる組織、活動内容、活動時期、滞在中の生活環境 ・ボランティア保険料の負担
53	神戸市看護大学	—	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面への配慮(事前の保護者への説明と協力など) ・活動内容 ・交通費や経費
54*	奈良県立医科大学	活動内容、活動期間、時期、経費	—
55	奈良県立大学		
56*	和歌山県立医科大学		
57*	島根県立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地の状況把握 ・被災地での受入体制と活動内容 ・学生の安全面の確保 ・学生の経費負担の軽減 	<p>大学として、学生の自主的な取り組みを支援するという立場から、学友会(全学生により組織される学生団体)に窓口を一本化し、県社会福祉協議会との連携の下に学生を派遣した。</p>

2. 学生ボランティア派遣等について大学として何らかの検討が行われた場合についてお尋ねします。検討の際、課題となった事項があればご記入ください。

No.	大学名	2-1 大学の行う事業に関して 例)被災地の状況把握、学生の安全面、 経費、活動内容、活動拠点等	2-2 学生が個人で参加する活動に関して 例)自主参加の確認方法、被災地の状況 についての情報提供、安全面への配慮、 経費補助、活動内容・活動拠点の把握に ついて等
58*	岡山県立大学	—	安全面への配慮、経費補助
59*	新見公立大学		
60*	県立広島大学	(単位付与、履修への配慮などの特別措置なし(欠席扱い))	余震あるいは放射能汚染の危険性が払拭されるまでは、現地ではなく、広島県内で参加できる支援活動を推奨する。 被災現地での支援活動を強く希望する学生に対しては、①保護者の同意 ②事前の情報収集 ③ボランティア保険への加入 ④緊急時の連絡体制 を届け出させる。
61*	広島市立大学	大学の行う事業としては実施していない。	夏季休業期間中に行う東日本大震災の復興支援に関するボランティア活動について、活動場所や保険加入の有無、現地での活動団体名、宿泊場所、活動内容等を記載した活動報告書を事前に提出させました。
62	尾道大学		
63	福山市立大学	検討なし	検討なし
64*	山口県立大学	1)被災地の状況把握の方法について 2)学生の活動内容、活動拠点、受け入れ先(団体)の選定について 3)学生の安全確保の方法について 4)学生の保険の適用について 5)学生の保護者の承諾について 6)学生の経費負担について 7)希望する学生の選抜方法について 8)後方支援に徹すべきか否かについて(現地派遣の意義について) 9)余震や不測の事態への対処方法について(引率の必要性) 10)事前事後学習の学内外サポートについて 11)活動後の健康サポートセンターによる学生アンケートとフォローアップについて	1)学生の受け入れ先(団体)の把握について 2)学生の安全確保の方法について 3)学生の保険の適用について 4)学生の保護者の承諾について 5)学生の経費負担について 6)希望する学生の選抜方法について 7)後方支援に徹すべきか否かについて(現地派遣の意義について) 8)余震や不測の事態への対処方法について(引率の必要性)
65*	下関市立大学	特になし	学生の活動内容や活動拠点の把握、保険加入の徹底等が課題であったため、下記を含む掲示を作成し、学生に周知をはかった。 ・ 出発前に「ボランティア活動届」を提出させた。 ・ ボランティア保険加入の手続きを事務局にて行った。 (大学窓口にて保険加入申込書の記入と集金をし、大学職員が社会福祉協議会へ持参。)
66	香川県立保健医療大学	無	無

2. 学生ボランティア派遣等について大学として何らかの検討が行われた場合についてお尋ねします。検討の際、課題となった事項があればご記入ください。

No.	大学名	2-1 大学の行う事業に関して 例) 被災地の状況把握、学生の安全面、 経費、活動内容、活動拠点等	2-2 学生が個人で参加する活動に関して 例) 自主参加の確認方法、被災地の状況 についての情報提供、安全面への配慮、 経費補助、活動内容・活動拠点の把握に ついて等
67*	愛媛県立医療技術大学	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地でのボランティア活動の内容についての情報提供 ・安全面への配慮 ・経費補助 ・参加学生の単位取得状況
68*	高知県立大学	—	—
69*	高知工科大学	経費(旅費等)の支援について、検討のうえ支援を行った。	大学で把握しているボランティア参加者は、1名のみ。本人からの公欠届の提出により、確認しています。被災地の情報提供、安全面への配慮、経費補助は特には行っていません。活動内容・活動拠点については確認していません。(家族と一緒に参加するということであったため、行き先のみを口頭で確認。仙台市)
70*	九州歯科大学	検討していません	各自で情報収集し、参加するように学内に文書を掲示した。
71*	福岡女子大学		
72*	福岡県立大学	東日本大震災復興支援学生ボランティア車座シンポジウム」参加を踏まえて、大学改革セミナーにおいて報告し、今後を検討する。	—
73*	北九州市立大学		
74*	長崎県立大学		
75*	熊本県立大学		
76*	大分県立看護科学大学	—	—
77	宮崎県立看護大学		
78*	宮崎公立大学		
79	沖縄県立芸術大学		
80	沖縄県立看護大学	該当なし。	該当なし。
81*	名桜大学		

3. 文部科学省は4月1日付で、東日本大震災のボランティア活動について修学上の配慮を行うよう各大学に通知していますが、復興支援に関するボランティア活動に関し、単位を認定する等の取組みを行っていますか。当てはまるものに○をおつけください。

No.	大学名	【A】単位として認定する等の仕組みはない 【B】単位として認定する等の仕組みがある ⇒ある場合は、以下3-1、3-2もご記入願います	【B】の場合 3-1 科目名、配当年次、認定要件、単位の取扱(要卒単位等)等、概要を記入ください	【B】の場合 3-2 単位認定を行う場合の問題点について、例えば単位認定以外の学生への配慮等が必要である等、課題とお考えのことがあれば記入ください。
1*	札幌医科大学			
2	釧路公立大学			
3*	公立はこだて未来大学	A		
4	名寄市立大学			
5*	札幌市立大学			
6*	青森県立保健大学	B	保健医療福祉特殊講義Ⅱ(1～4年次通年、選択、1単位) 講義「震災ボランティアの心構え」を受講し、1日単位の震災ボランティア活動に参加し、レポートを提出することで単位として認められる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的なボランティア学生と「単位のため」という学生をどう考えるか、ボランティアへの意欲の妨げにならないよう配慮が必要。 ・活動地域への負担の配慮(安全性の確保、学生の一定の質の保証等) ・ボランティア活動のための休学した場合の補講・追試の対応など配慮が必要。
7*	青森公立大学	A		
8*	岩手県立大学	A		
9*	宮城大学	A 学部によっては、単位として認定する仕組みはある(事業構想学部)	<p>①公的機関やNPO等の正式な組織が主催する震災復興に関するボランティアに一定期間(概ね5日間以上)従事したもの。</p> <p>②学内の教員が提供する震災ボランティアの形式(設計事務所のオープンデスク、過去の被災地において復興した企業等)についても同様に認定を行う。</p> <p>③ ボランティア活動報告書(参加目的、活動内容、成果や課題、震災復興に対する提案等を内容とするA4版3枚のレポート)および、ボランティアを従事したことを認める証明書(ボランティア受入先組織の現場責任者より署名と印をいただく)を提出すること。</p>	実績が無いため、特になし。
10*	秋田県立大学	A		
11*	国際教養大学	A		
12*	山形県立保健医療大学	—		
13*	福島県立医科大学	A		
14*	会津大学	A		

3. 文部科学省は4月1日付で、東日本大震災のボランティア活動について修学上の配慮を行うよう各大学に通知していますが、復興支援に関するボランティア活動に関し、単位を認定する等の取組みを行っていますか。当てはまるものに○をおつけください。

No.	大学名	【A】単位として認定する等の仕組みはない 【B】単位として認定する等の仕組みがある ⇒ある場合は、以下3-1、3-2もご記入願います	【B】の場合 3-1 科目名、配当年次、認定要件、単位の取扱(要卒単位等)等、概要を記入ください	【B】の場合 3-2 単位認定を行う場合の問題点について、例えば単位認定以外の学生への配慮等が必要である等、課題とお考えのことがあれば記入ください。
15	茨城県立医療大学			
16	群馬県立女子大学			
17	群馬県立県民健康科学大学	B	ボランティア活動が授業の目的と密接に関わる場合、科目責任者の判断により授業の一部として位置づけることができる。	—
18*	高崎経済大学	A		
19	前橋工科大学	A		
20*	埼玉県立大学	A		
21	千葉県立保健医療大学	A		
22*	首都大学東京	A		
23*	産業技術大学院大学	A		
24	神奈川県立保健福祉大学			
25*	横浜市立大学	B	科目名:アクティブ・プランニング実習(国際総合科学部・医学部 共通教養科目 実践科目) 配当年次:1-4年次(医学部医学科のみ1年次) 認定要件:アクティブ・プランニング実習の流れは下記1-5のとおり (1)履修希望者は担当教員に計画書を提出 ※既に単位修得済の場合は単位認定の対象外 (2)担当教員が計画書を審査 (3)科目内容として認められた場合、学生は事前学習を行い、実習として規定時間(45時間)以上のボランティア活動を実施する (4)活動終了後、報告レポートを提出 (5)学期末に単位認定(単位付与) 単位取扱:共通教養科目(1単位)として卒業単位に含まれる	大学院生には単位認定科目が準備されていない
26	新潟県立看護大学	A		
27*	新潟県立大学			

3. 文部科学省は4月1日付で、東日本大震災のボランティア活動について修学上の配慮を行うよう各大学に通知していますが、復興支援に関するボランティア活動に関し、単位を認定する等の取組みを行っていますか。当てはまるものに○をおつけください。

No.	大学名	【A】単位として認定する等の仕組みはない 【B】単位として認定する等の仕組みがある ⇒ある場合は、以下3-1、3-2もご記入願います	【B】の場合 3-1 科目名、配当年次、認定要件、単位の取扱(要卒単位等)等、概要を記入ください	【B】の場合 3-2 単位認定を行う場合の問題点について、例えば単位認定以外の学生への配慮等が必要である等、課題とお考えのことがあれば記入ください。
28*	山梨県立大学			
29*	都留文科大学	A		
30	長野県看護大学	A		
31	富山県立大学			
32*	石川県立看護大学			
33*	石川県立大学	A		
34*	金沢美術工芸大学	A		
35*	福井県立大学	A ただし、事前に大学の許可を受けてボランティアに参加した場合、試験等において本人の不利益にならないような配慮(欠席期間中の授業の出席扱いなど)を行うこととした。		
36*	岐阜県立看護大学			
37	情報科学芸術大学院大学	A		
38	岐阜薬科大学	A		
39*	静岡県立大学	A		
40*	静岡文化芸術大学	A		
41*	愛知県立大学	A		
42*	愛知県立芸術大学	A		

3. 文部科学省は4月1日付で、東日本大震災のボランティア活動について修学上の配慮を行うよう各大学に通知していますが、復興支援に関するボランティア活動に関し、単位を認定する等の取組みを行っていますか。当てはまるものに○をおつけください。

No.	大学名	【A】単位として認定する等の仕組みはない 【B】単位として認定する等の仕組みがある ⇒ある場合は、以下3-1、3-2もご記入願います	【B】の場合 3-1 科目名、配当年次、認定要件、単位の取扱(要卒単位等)等、概要を記入ください	【B】の場合 3-2 単位認定を行う場合の問題点について、例えば単位認定以外の学生への配慮等が必要である等、課題とお考えのことがあれば記入ください。
43*	名古屋市立大学	B	科目名:教養科目「ボランティア科目」 配当年次:1~4年次 認定要件:①大学が認めるボランティア活動であること ②合計30時間以上の活動であること③学研災付帯賠償責任保険(Bコース)に加入すること 単位の取扱:卒業までに1単位を上限とし、薬学部、経済学部、人文社会学部においては進級・卒業に必要な単位数に算入される。(医学部、芸術工学部、看護学部は算入されない) 科目名:専門科目「社会貢献プロジェクト」 配当年次:1~4年 認定要件:報告会を実施し、個々の内容を評価する。原則として、活動期間2週間(実質10日間)以上を評価の対象とする。 単位数:2単位 取得した場合、選択科目として卒業要件に含む。	単位取得を目的としたボランティア活動については、活動の要件に指定されることが多いボランティア保険(社会福祉協議会)が適用されない。
44*	三重県立看護大学	A		
45*	滋賀県立大学	B	科目名:ボランティア活動 配当年次:1~4年次 認定要件:現地で30時間以上のボランティア活動を行う。原則、休業期間中の活動を対象とする。必ずボランティア保険に加入する。単位認定申請書、現認証明書、活動報告書に基づき成績を評価する。 単位取扱:1単位(自由科目:卒業要件単位には含めない。) 成績評価は、「合格」、「不合格」	—
46*	京都府立大学	A		
47*	京都府立医科大学	A		
48	京都市立芸術大学	A		
49*	大阪府立大学	B	社会インターンシップC、人間社会学部専門科目・2年次配当、80時間の実践活動及び報告会での発表必須、選択科目	—

3. 文部科学省は4月1日付で、東日本大震災のボランティア活動について修学上の配慮を行うよう各大学に通知していますが、復興支援に関するボランティア活動に関し、単位を認定する等の取組みを行っていますか。当てはまるものに○をおつけください。

No.	大学名	【A】単位として認定する等の仕組みはない 【B】単位として認定する等の仕組みがある ⇒ある場合は、以下3-1、3-2もご記入願います	【B】の場合 3-1 科目名、配当年次、認定要件、単位の取扱(要卒単位等)等、概要を記入ください	【B】の場合 3-2 単位認定を行う場合の問題点について、例えば単位認定以外の学生への配慮等が必要である等、課題とお考えのことがあれば記入ください。
50*	大阪市立大学	A		
51	兵庫県立大学	B	科目名:災害現場と防災 配当年次:1年 認定要件:4日以上ボランティアに従事する。事前に計画書を提出する。事後に授業において活動内容を発表する。(報告書の提出も可) 単位:2単位(卒業要件にカウントする。)	—
52*	神戸市外国語大学	A		
53	神戸市看護大学	B	【科目名】 「ボランティア活動」選択科目 【配当年次】 1~4年 【認定要件】 実質活動時間30時間以上、講義1コマ、ボランティア交流会1コマ参加。毎回の活動報告とミニレポート2400字 【単位】 45時間、1単位 【概要】 ・履修登録した学生を対象に、ボランティアとは、ボランティアの実際と注意点などについて担当教員から講義を行い、その後のボランティアの活動先は、各自が自主的に決めてもらうよう関わっています。活動先の条件は特にありませんが、本学の教員が中心に担っている活動については、HPやメールを使って積極的に情報提供しています ・情報提供の方法の一つとして、科目履修の有無に関わらず(履修者は必須)、ボランティア登録を行ってもらい、大学側からボランティア募集に関する情報を提供しています。 ・毎年、1回ボランティア体験者と興味がある学生同志の交流を図る目的で、ボランティア交流会を開催しています。	・「ボランティア活動」は選択科目なので、履修者数に比べ、認定者数が少ないことは課題の一つと考えます。
54*	奈良県立医科大学	A		
55	奈良県立大学			
56*	和歌山県立医科大学			
57*	島根県立大学	A		
58*	岡山県立大学	A		

3. 文部科学省は4月1日付で、東日本大震災のボランティア活動について修学上の配慮を行うよう各大学に通知していますが、復興支援に関するボランティア活動に関し、単位を認定する等の取組みを行っていますか。当てはまるものに○をおつけください。

No.	大学名	【A】単位として認定する等の仕組みはない 【B】単位として認定する等の仕組みがある ⇒ある場合は、以下3-1、3-2もご記入願います	【B】の場合 3-1 科目名、配当年次、認定要件、単位の取扱(要卒単位等)等、概要を記入ください	【B】の場合 3-2 単位認定を行う場合の問題点について、例えば単位認定以外の学生への配慮等が必要である等、課題とお考えのことがあれば記入ください。
59*	新見公立大学			
60*	県立広島大学	B	科目名:ボランティア活動(選択科目) 配当年次:1・2年 認定要件:集中講義(5月)受講, 実習(8月)(実働30時間以上又は2泊3日のボランティア活動)に係る主催団体の証明及びレポート提出 単位数:2単位	—
61*	広島市立大学	A		
62	尾道大学			
63	福山市立大学	A		
64*	山口県立大学	B	科目名:ボランティア(1年～4年) 認定要件:事前学習、合計24時間以上の活動、活動報告 単位取扱:要卒単位として認定 科目名:地域実習(2年～4年) 認定要件:事前に「フィールドワーク実践論」を受講していること、事前事後学習、中間報告と最終報告会、各自の実習日誌とグループで一つのレポート提出、実習時間は60時間以上合計24時間以上の活動、活動報告 単位取扱:要卒単位として認定	—
65*	下関市立大学	A		
66	香川県立保健医療大学	A		
67*	愛媛県立医療技術大学	A		
68*	高知県立大学	A		
69*	高知工科大学	A		
70*	九州歯科大学	A		
71*	福岡女子大学			
72*	福岡県立大学	A		
73*	北九州市立大学			

3. 文部科学省は4月1日付で、東日本大震災のボランティア活動について修学上の配慮を行うよう各大学に通知していますが、復興支援に関するボランティア活動に関し、単位を認定する等の取組みを行っていますか。当てはまるものに○をおつけください。

No.	大学名	【A】単位として認定する等の仕組みはない 【B】単位として認定する等の仕組みがある ⇒ある場合は、以下3-1、3-2もご記入願います	【B】の場合 3-1 科目名、配当年次、認定要件、単位の取扱(要卒単位等)等、概要を記入ください	【B】の場合 3-2 単位認定を行う場合の問題点について、例えば単位認定以外の学生への配慮等が必要である等、課題とお考えのことがあれば記入ください。
74*	長崎県立大学			
75*	熊本県立大学			
76*	大分県立看護科学大学	A		
77	宮崎県立看護大学			
78*	宮崎公立大学			
79	沖縄県立芸術大学			
80	沖縄県立看護大学	A		
81*	名桜大学			

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
1*	札幌医科大学			
2	釧路公立大学			
3*	公立ほこだて未来大学	助部(サークル)	ボランティア活動への参加	いちサークルとしての関与
4	名寄市立大学			
5*	札幌市立大学			
6*	青森県立保健大学	①コーラスサークル ②めいとサークル ③SMILEサークル ④津軽三味線サークル ⑤アカペラサークル ⑥発達保障研究会 ⑦書道Guy'sサークル	①高齢者施設慰問活動 ②ボランティア活動及び情報提供 ③ピアカウンセリング活動 ④高齢者施設及び仮設住宅集会所慰問活動 ⑤仮設住宅集会所慰問活動 ⑥知的障害者の生涯学習をサポート ⑦書道パフォーマンスによる慰問活動	①— ②— ③— ④— ⑤— ⑥— ⑦—
7*	青森公立大学	①APCまちなかしかへらあ～s (公認サークル) ②青森公立大学ボランティアサークル「Pieces」 (公認サークル) ③青森県学生災害ボランティアネットワーク“虹” (本学学生が代表を務める任意団体)	①青森市中心市街地の賑わいづくり創出の事業のボランティア活動を行う。 ②地域活性や地域福祉に関する活動に参加し、社会奉仕の心を養う。 ③青森県内の学生を対象に、災害地でのボランティア活動に対する研修、ボランティア参加、活動報告を行い、災害ボランティアの人材育成、災害に対する意識啓発を図る。	①・学友会(学生自治会)の公認 ・後援会からの活動費補助 ②・学友会(学生自治会)の公認 ・後援会からの活動費補助 ③特になし
8*	岩手県立大学	学生ボランティアセンター (学内任意組織)	地域と学生の交流を深めながら、学生が社会参加・社会貢献をしていくことを目標として活動している。 IDOプロジェクト、DoNabe-net、被災地ボランティア、TERM DAKS、畑プロジェクト、ホームレス支援プロジェクト、学生VC厳美出張所、学生ボランティアセンター西和賀出張所、川前パトロール隊等	大学内で事務室等の提供 活動経費支援は行っていない
9*	宮城大学	①ウインドアンサンブル(音楽サークル) ②劇団「おにぎり」 ③ART STANDARD(デザイン・創作サークル) ④娘すずめ。(仙台の伝統芸「すずめ踊」のサークル)	①被災地での慰問演奏会 ②避難所での人形劇公演 ③避難所向けのワークショップの開催 ④避難所、仮設住宅での演舞	①特になし ②特になし ③特になし ④大学のマイクロバスでの送迎

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
10*	秋田県立大学	①赤十字奉仕団(サークル) ②遊縁ん地(サークル) ③UP←A(同好会) ④木匠塾(サークル) ⑤カヌー部(サークル) ⑥ジャズバンドサークル、ダンスサークル(サークル)	①学内外での募金活動、赤十字社による炊き出し等の手伝い ②サマーキャンプでの小学生の活動補助 ③東日本大震災復興支援活動、その他ボランティア活動全般 ④保育園、幼稚園を訪問し、木工教室を開催 ⑤一般市民を対象としてカヌー教室を開催 ⑥介護老人施設、企業を訪問し、演奏会を開催	①後援会による補助金の支給 ②後援会による補助金の支給 ③後援会による補助金の支給 ④後援会による補助金の支給 ⑤後援会による補助金の支給 ⑥後援会による補助金の支給
		この他、本荘キャンパス学生は、介護老人施設や企業が主催する夏祭りや運営ボランティアとして参加しているほか、由利本荘市が主催する花火大会、冬祭りなど各種催しで運営ボランティアとして参加し、地域の活性化に貢献しております。また、今冬の大雪により被害を受けた横手市ブドウ園での除雪ボランティア(2月)、由利本荘市鮎川地区の大雨(6月)で浸水した家屋の家財搬入・清掃活動など行っております。		
11*	国際教養大学	AIUサポーター	がれき撤去、心のケア https://sites.google.com/site/touhokukantoudaishinsaio/uen/	費用援助
12*	山形県立保健医療大学	清い翼(学内サークル)	心身障害児への支援(レクリエーション活動・療育指導)、献血運動、スペシャルオリンピック活動支援	—
13*	福島県立医科大学	赤十字奉仕団	福祉施設訪問等	特になし
14*	会津大学	該当ありません		
15	茨城県立医療大学			
16	群馬県立女子大学			
17	群馬県立県民健康科学大学	①学内サークルボランティアサークル ②外部団体への参加 NPO ACTION	①毎月、隔週土曜日の午後、県立小児医療センターにて入院児童の遊び相手を行っている。 ②フィリピンでの児童相手などのボランティア	①— ②—
18*	高崎経済大学	特になし		
19	前橋工科大学	—	—	—
20*	埼玉県立大学	名称:在宅医療研究会 海 性格:サークル	ALS(筋萎縮性側索硬化症)患者の夜間介護、外出時の付き添い	顧問教員による指導、助言
21	千葉県立保健医療大学	—	—	—

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
22*	首都大学東京	①医療研究会「WILL」 ②35(サンゴ)サポネットin あらかわ ③ESS	①地域の障害者の方と外出、介助講習会実施 ②育児に不安や心配のある母親にアドバイス ③明治神宮・皇居・浅草等での外国人観光客の案内	①施設の優先予約 ②教員の指導、施設の優先予約 ③施設の優先予約
23*	産業技術大学院大学	夜間大学のためサークルが存在しない。		
24	神奈川県立保健福祉大学			
25*	横浜市立大学	①環境ボランティアStepUP 文化部連合会所属団体 ②トレボル@横市 文化部連合会所属団体 ③学生赤十字奉仕団 文化部連合会所属団体 ④NatureLink@よこいち 文化部連合会所属団体 ⑤PeaceNews 準文化部連合会所属団体 ⑥復興支援団体Tane 文科系サークル ⑦福浦弦楽舎 医学部文化部連合会所属 団体 ⑧横浜市立大学医学部学 生赤十字奉仕団 医学部文化部連合会所属 団体 ⑨ちちんぷいぷい 医学部文化部連合会所属 団体	①大学・地域での美化活 動・啓発活動など ②外国につながるのある子 供たちの学習支援(小学生 の予習・復習の手伝い) ③赤十字(献血補助)や発 達障害の子どもの支援活動 ④地域イベントの運営(瀬戸 のお月見祭りなど)、ボボラ ンティア活動 ⑤国際協力・ボランティア・ ベルマーク収集 ⑥復興イベントの企画・主催 ⑦附属病院食堂で演奏・一 般市民 ⑧LD児の会に参加・LD児 にじの会 駅にて献血の呼掛け・一般 市民 ⑨附属病院小児病棟で面 会人のいない患児や面会に きた患児のきょうだいと遊ぶ・ 小児病棟入院患者と面会の きょうだい	①学内施設利用許可、部 室・課外活動補助金 ②学内施設利用許可、部 室・課外活動補助金 ③学内施設利用許可、部 室・課外活動補助金 ④学内施設利用許可、部 室・課外活動補助金 ⑤学内施設利用許可 ⑥学内施設利用許可 課題:活動範囲・可否等に ついて迅速かつ的確な判断 を求められているが、対応が 追いついていない。 ⑦課外活動補助金 ⑧課外活動補助金 ⑨課外活動補助金
26	新潟県立看護大学	ボランティア・スペシャル・プ ロジェクト(VSP)サークル	地域に貢献するボランティア 活動	顧問が内容を把握し、指導 助言を行う
27*	新潟県立大学			
28*	山梨県立大学			

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
29*	都留文科大学	VS－災害ボランティアチーム	災害ボランティアの支援と災害ボランティアチームの派遣 ・7/1～4 宮城県登米市、気仙沼市、南三陸町(25名) ・7/15～18 宮城県登米市、気仙沼市、南三陸町(23名) ・8/7～12 岩手県釜石市(9名) ・8/22～26 宮城県登米市、気仙沼市、南三陸町(8名) ・9/8～15 岩手県釜石市(12名) ・11/14～28 岩手県釜石市(16名) ・11/25～28 岩手県陸前高田市、釜石市(22名)	サークル扱いであるが、災害ボランティア団体として相談に応じたり、配布物の印刷をしたりして側面から援助を図っている。
30	長野県看護大学	①ボランティアサークル(サークル) ②1年生有志(有志) ③教員及び学生(有志) ④教員及び学生(有志)	①地域における障害を持つ方の援助等 ②市主催の少年少女相撲大会の運営サポート ③地域の在宅療養者・家族の会に参加し、療養者への介護、交流を実施 ④地域の福祉施設の祭りに参加し、入所者への介助	①後援会からの活動費補助 ②学生への周知 ③教員から参加呼びかけ ④教員から参加呼びかけ
31	富山県立大学			
32*	石川県立看護大学			
33*	石川県立大学	①キッズボランティア(サークル) ②学生援農隊 あぐり(サークル)	①小学生対象のキャンプなど ②休耕地での野菜育成など	①— ②—
34*	金沢美術工芸大学	①石川県県民ボランティアセンター ②宇宙支援隊 ③石川県ユネスコ協会 ④宮城県立大学	①泥出し、家具・畳等の運び出し ②神社の荷物の運び出しと、カキ養殖業の作業手伝い ③田畑の瓦礫の分別とヘドロの運び出し ④傾聴ボランティア	ボランティアで参加する学生に対して、経費を補助。(補助金額:移動日を除き1日につき1,000円)
35*	福井県立大学	①ボランティア部 ②Open The せさみ ③ライフ・セービング部	①地域活動、エコ活動、社会奉仕活動等 ②献血推進運動、麻薬撲滅運動 ③海における人命救助・事故防止活動	①— ②— ③—
36*	岐阜県立看護大学			

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
37	情報科学芸術大学院大学	特になし	特になし	特になし
38	岐阜薬科大学	該当なし		
39*	静岡県立大学	①ボランティアクラブこんぺいとう ②防災ボランティアサークル防'z	①社会福祉等の各種ボランティア活動への参加等。 ②地域防災訓練における初期救命技術講習の実施。救命講習の受講等。	①活動費助成 ②活動費助成
40*	静岡文化芸術大学	SUAC For Japan(学生の有志による復興支援のための実行委員会)	①被災地でのボランティア活動 ②チャリティ活動 ・募金活動の実施 ・チャリティーバザーを開催 ・学内で文具を募り、宮城県の志津川高校に送付 ・宮城県石巻市の子どもがつくった瓦礫アートの展示会を大学のギャラリーにて開催 ・学生が企画するチャリティコンサートを開催(公演の収入の一部は、浜松市が支援する岩手県大船渡市の教育機関における音楽活動支援のために使用する予定。)	教員が個別に指導・助言している。
41*	愛知県立大学	相当数あり、把握しているものしていないもの等種々あるため記入ができない。大学との関与についても学生の自由参加から地域(行政機関)と協定を結んで行っているものまで多様。今後は学生のボランティア活動の拠点づくりについて検討中。		
42*	愛知県立芸術大学	特になし		
43*	名古屋市立大学	①障害者問題研究会(正規のクラブ活動) ②蝶ヶ岳ボランティア診療班(正規のクラブ活動) ③ギターマンドリンクラブ(正規のクラブ活動) ④スキューバダイビング部(正規のクラブ活動) ⑤ワンダーフォーゲル部(正規のクラブ活動)	①知的障害者の旅行や外出の企画・援助 ②山小屋での診療所の運営 ③無料演奏会、デイサービス施設での演奏 ④潜水海域でのゴミ拾い ⑤登山する山でのゴミ拾い	①特になし ②多数の教職員が参加している ③特になし ④特になし ⑤特になし
44*	三重県立看護大学	①献血推進サークル さくらんぼ ②ゆめたまご	①献血啓発活動への参加、献血キャンペーン参加 ②三重病院でのボランティア活動	①特になし ②特になし

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
45*	滋賀県立大学	①木興プロジェクト ②竹の会所プロジェクト ③いぶきクラブ ④近江楽座 ボランティアサークル Harmony ⑤近江楽座 未来看護塾 ⑥近江楽座 バンディラ・ジ・オウロ	①宮城県南三陸町の漁港において漁師のための番屋を建設した。 ②宮城県気仙沼市において津波で流された人々が集まる場所を竹を使って建設した。 ③不登校関係の団体の集まりに参加し、児童への交流、支援をするとともに、夏にはサマホリクラブにボランティアとして参加する。 ④月1回(第4土曜)に、障がい児の余暇支援として、地域の障がいのある子ども達と、お茶・粘土遊び・お絵かき・散歩を通じて交流。夏と冬の宿泊会(8、12月)、バス旅行(10月)、12月に障がい児などを招待し、クリスマスコンサートの開催など行う。 ⑤年間を通じて彦根市民病院小児科・緩和ケア病棟、ぽぽハウス、小学校学童保育で支援する他、ピザ作り(6,7月)、プール(7月)、クリスマス会(12月)の開催、ふれあいフェスタ、ぽぽ祭り、千人献血イベントへの参加など人とのふれあいの中で、コミュニケーションの取り方や健康についてなど多くの学びを得る時間づくりを行う。 ⑥ブラジル人学校と保育園で年間を通じて放課後の学習支援、企画授業、学習会を実施し、その他荒神山キャンプ(9月)、ポルトガル語学習会(10、11月)、活動報告冊子作成(2月)などを行う。	①大学教員の指導のもとで活動 ②大学教員の指導のもとで活動 ③大学教員が顧問 ④大学より助成ホームページによる活動の広報 ⑤大学より助成ホームページによる活動の広報 ⑥大学より助成ホームページによる活動の広報
46*	京都府立大学	①ボランティアサークルたろうとはなこ(クラブ) ②森なかま(クラブ) ③環境サークルエコプロジェクト(クラブ)	①自閉症傾向のある子供の支援 ②ボランティアによる森林施業活動など ③古着リサイクル収益等による震災復興支援対策等	①後援会による活動に対する経費援助 ②後援会による活動に対する経費援助 ③後援会による活動に対する経費援助
47*	京都府立医科大学	—	—	—
48	京都市立芸術大学	特にありません。		

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
49*	大阪府立大学	①大阪府立大学ボランティアセンター「V-station」 ②セツルメント部	①活動を通じて学生の自己発見、市民性の育成、地域の課題解決により地域貢献に寄与する。 ・学生、教職員への活動に関する情報提供及び相談対応 ・ボランティア団体からの情報収集及び相談対応 ・ボランティアサークル等の活動・運営への支援及び相談対応 ・ボランティアプログラム、地域交流行事等の企画・立案 ・社会福祉協議会等の関係機関との連携 ②児童養護施設の子どもとのふれあい活動行事に参加並びに運営に協力。	①スタッフ及び経費の充実について ②特になし
50*	大阪市立大学	①国際支援・環境サークルCHOVORA!! (サークル) ②アカペラサークルACCORD (サークル) ③フタマル〜TABLE FOR TWO大阪市大〜 (サークル) ④写真部 (サークル)	①ごみ拾い。各種イベントのお手伝い(幼稚園や老人ホームなどでのお祭り等)。国際協力、環境保護、福祉に関することは随時検討する。 ②福祉施設等への出張出演など。 ③国際交流(TABLE FOR TWOを通じて先進国の食べ過ぎの問題と途上国の飢餓問題を同時に解決するために大阪市立大学内にTABLE FOR TWOのヘルシーメニューを学生食堂に導入し、寄付金を集め、アフリカの子供たちに学校給食を贈ると同時に、大学生に対し、食意識の改善を行う。各種イベントを開催し、TABLE FOR TWOを通じて世界の食糧事情を知り、もっと広く国際問題について考えるきっかけを与える。) ④入学記念等の写真撮影	①具体的な活動内容の把握 ②具体的な活動内容の把握 ③具体的な活動内容の把握 ④具体的な活動内容の把握
51	兵庫県立大学	①学生グループによる被災地に野菜を送るプロジェクト活動 ②学生グループ(ブリッジ)の活動	①ほうれん草、ジャガイモ等の野菜を民有地を無料で借り受け栽培し、ボランティア派遣バスを利用して、避難所等に届けた。 ②廃校となった高校を利用し、被災地(福島県)の高校を招きテニス合宿のサポートを実施した。	①学生ボランティアバスを利用して被災地に届けている。 ②—

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
52*	神戸市外国語大学	①イスパ絵本翻訳サークル ②神戸外大ハビタットチーム ③本学ボランティアコーナー学生スタッフ ④学園東町ふれあい協議会と本学ボランティアコーナー学生スタッフ ⑤本学ボランティアコーナー学生スタッフ	①日本語の絵本をスペイン語に翻訳し、エルサルバドルの子どもたちに贈る。 対象:エルサルバドルの児童 ②発展途上地域のきちんとした家を持たない人々に住居建設の作業手伝いと資金援助を行う。 対象:発展途上地域の家を持たない人々 ③被災地支援街頭募金、激励メッセージと募金→被災地の小学校へ、古本を回収して、売却益を被災地生活再建資金に寄附。 対象:東日本大震災の被災地 ④障がいのある子どもたちの遊び支援 対象:障がい児童 ⑤近隣お年寄りとのおしゃべりボランティア、近隣お年寄りへの訪問ボランティア 対象:高齢者	①長期にわたって活動を安定的に継続すること ②安全の確保 ③学生が被災地に関心を持ち続け、継続的に被災地支援を行うこと。 ④⑤長期にわたって活動を安定的に継続すること。
53	神戸市看護大学	ボランティア部	阪神・淡路大震災後、復興住宅で生活されている住民。	1ヶ月に1回(10回/年)HAT神戸脇の浜復興住宅のコミュニティセンターで、学生と一緒に2時間程度健康相談と季節のレクリエーションを実施しています。毎回、参加者は12~15名程度です。
54*	奈良県立医科大学	①社会医学研究会(クラブ) ②奈良医大学生災害ボランティア奈良WILL	①ぬいぐるみ病院(保育園での活動)、ホスピスでの活動、留学生の受け入れ等 ②被災地への仮設サロンでの傾聴活動・健康調査など ボランティア活動、被災大学での講義の受講や学生との交流	①ぬいぐるみ病院(保育園での活動)、ホスピスでの活動…学外活動として認知 留学生の受け入れ等…関係先への周知 ②被災地大学との連絡や活動内容など関与、組織形態・経費など
55	奈良県立大学			
56*	和歌山県立医科大学			
57*	島根県立大学	C-Artis ほかに多数 (サークル・クラブ・外部団体等)	美術館での子供対象の工作指導(C-Artisの場合)ほかに多種	地域からの情報の収集とサークル等への提供。
58*	岡山県立大学	①ボランティア部ひまわり ②児童文化部、手話部 ③奇術サークル	①福祉関係のボランティアを中心に、地域の施設等で活動 ②子供会や学校等での催しに参加 ③地域や施設でのイベントに参加	①~③大学にくるボランティアの依頼を連絡

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
59*	新見公立大学			
60*	県立広島大学	①NO NAME (サークル) ②ファーマーズ・ハンズ (サークル) ③地域活動支援隊 (サークル) ④ボランティア部 (サークル) ⑤パペットサークル (サークル) ⑥走り隊 (サークル) ⑦授産サークル「絆」 (サークル)	①地域貢献, 国際協力, 震災復興支援 ②農地耕作作業及び地元開催イベントのスタッフ支援等 ③地域開催イベントの企画参加及びスタッフ支援 ④障害者施設等からの依頼に応じ, 外出時の付き添いや行事の手伝い等を行っている。 ⑤地域団体・幼稚園等からの依頼に応じて, 人形劇公演を行っている。 ⑥障害者陸上競技大会に出場する障害者の伴走を行っている。 ⑦作業所で働く障害者の方々の活動を支援するため, 作品販売の手伝いや作業所主催の祭りに参加している。また, 今年度は震災復興支援の募金を集め宮城県立精神医療センターに仮設住宅訪問時用のクッキー等を届ける活動を行っている。	①平成23年11月設立 ②活動の内容を審査し, 助成を行っている。 ③同上 ④特に関与していない。 ⑤顧問の教員が引率している。 ⑥特に関与していない。 ⑦募金活動等, 活動内容によっては顧問の教員が協力している。
61*	広島市立大学	[クラブ]ねっこ広島	広島フラワーフェスティバルでのごみ拾い等	後援会からボランティア活動費として活動費の一部を補助
62	尾道大学			
63	福山市立大学	学生生活規程により学長が認める学生団体(サークル)	大学行事の企画とあわせてのボランティアを目的に結成された。	サークル活動の一部としてボランティアを行っているものであり, 大学を代表する公的な活動ではない。自主的な対応であるその成果を大学としては, どう扱うかが課題。

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
64*	山口県立大学	(1)鹿野人(かのんちゅ) (学生有志と地域によるプロジェクト) (2)防犯啓発グループ 桜SA(オーサ) (学生有志) (3)虹+(ニジプラス)(学生有志) (4)Kids' English(学生有志) (5)食育プログラム開発チーム (栄養学科学学生有志) (6)YPUTFT(学生有志) (7)やまぐちの飾りプロジェクト (学生有志) (8)ぶちぼら YP勇気 (社会福祉学部生) (9)おたまじゃくしの会 (サークル) (10)TOIYS(サークル) (11)いまじん。(サークル) (12)ぶちぼあん(サークル) (13)すみれの会(サークル) (14)タンデム(サークル) (15)山口BBS会(サークル) (16)徳地野外活動ボランティア (インカレ) (17)はーとボランティア (サークル) (18)よさこい奄美連合萩組 (サークル) (19)エトワール★放送局 (サークル) (20)社会福祉学部 学生ぶちボランティアセンター (学部内サークル) (21)MIL	(1)周南市鹿野地域の魅力、 オーラルヒストリーの調査、地域 の方との交流の創出 (2)山口県警、山口警察署と連 携して防犯啓発活動を行う (3)異文化理解を通じて、いじめ を抑制 (4)小学生を対象とした英語嫌 いの早期抑制活動 (5)子どもを対象とした食育活動 (6)TFT活動 (7)地域色豊かなデザインを活 かしたコミュニケーションの創出 山口版外国人向け出産ハンド ブックのデザイン等 (8)災害ボランティア (9)障害児支援 (10)地域福祉活動 (11)自閉症青年余暇支援 (12)点字サークル (13)献血サークル (14)障害者スポーツ・視覚障害 者余暇支援 (15)要養護児童支援 (16)社会教育活動支援 (17)高校生ボランティア講座 (18)地域のお祭りの出演、慰問 (19)地域、中学校等からの依頼 による司会進行、音響、照明 (20)ボランティア情報の提供・社 会福祉学部生 (21)障害児支援	(1)鹿野地域とのマッチング、指 導教員文化創造学科教員 (2)コーディネート、活動者の増 加 (3)国際文化学科教員による監 修、コーディネート (4)国際文化学科教員による監 修、コーディネート (5)栄養学科教員による監修、 コーディネート (6)国際文化学科教員による監 修、コーディネート (7)文化創造学科教員による監 修、コーディネート (8)― (9)― (10)― (11)― (12)― (13)― (14)― (15)― (16)― (17)― (18)― (19)― (20)社会福祉学部教員による指 導 (21)―
65*	下関市立大学	ベンチャービジネスサークル (学友会公認サークル)	・コミュニティスクールの開催 (毎月第3土曜に開催。近隣 の小学生に呼びかけ、勉強 や運動、工作等を行う。) ・自閉症や障害児を対象とし たNPO法人主催のボラン ティア活動に参加 ・フリーマーケットへの参加	・活動場所の提供 ・課外活動用具補助金の交 付(上限10,000円) ・予算の支給、活動費の助 成(後援会)
66	香川県立保健医療大学	①地域子育て研究会 ②ピアサークル	①地域の子育て支援 ②中学・高校生の性教育の 相談(高校の学園祭など)	①母性・小児・助産の教員 が学生ボランティアを支援・ 育成 ②看護協会からの依頼を受 けて大学として学生ボラン ティアを派遣
67*	愛媛県立医療技術大学	①子育て応援サークル K &K(学内サークル) ②性教育サークル ピアっこ (学内サークル) ③ボランティアサークル STS(学内サークル)	①愛媛FCホームゲーム開催 中の幼児保育 ②性教育、ピアカウンセリング 等研修会の参加 ③障害者との交流、他大学 との共同によるボランティア 活動への参加	①なし ②なし ③なし

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
68*	高知県立大学	①guu ②Racsiv ～ゆるアクティブ～ ③かんきもん ④池手話サークル ⑤エスコーターズ ⑥いけとべ！ ⑦高知ユネスコサークル ⑧こどもの図書館応援隊 ⑨ハモ☆イケ ⑩マングロー部 ⑪わんボラ ⑫グローカルクラブ ⑬太鼓部	①調理に関して ②特に決まっていない ③柚子取り・地域防犯 ④手話に関して ⑤街づくりに関して ⑥車椅子に関して ⑦世界遺産に関して ⑧こどもの図書館に関して ⑨病院ボランティア ⑩フィリピン植樹 ⑪ドッグセラピー ⑫特に定めていない ⑬演奏会、田植え等	なし
69*	高知工科大学	①清掃活動(P-S) サークル+外部団体 ②パソコン教室(CAST) クラブ	①県内各地でのゴミ拾い 拾えば街が好きになる運動 ②小学生を対象としたパソコン教室の開催	①特になし ②特になし
70*	九州歯科大学	むしばくらぶ	虫歯予防に関する口腔衛生等ボランティア活動	—
71*	福岡女子大学			
72*	福岡県立大学	①ハンドポスト(サークル) ②てんぶらあいす(サークル) ③たけのこサークル(サークル) ④障害児ボランティアサークルつくしんぼ(サークル) ⑤湯山荘ボランティアサークル(サークル) ⑥おやっこ(サークル) ⑦けんけっち(献血推進サークル)(サークル) ⑧ボランティアサークルだん☆だん(サークル) ⑨アンサンブルサークル tutti (サークル) ⑩OTTっと(おっとっと)(サークル)	①手話を使って、障がい者と交流する。手話コーラス等で啓発活動 ②心に病をもった方々の支援活動 ③障害児の託児や飯塚社会福祉協議会の子育て支援援助 ④障害児・者との遊びを通じた支援活動 ⑤児童養護施設「湯山荘」の子ども支援ボランティア活動 ⑥子育て支援ボランティア ⑦献血推進ボランティア ⑧高齢者支援ボランティア ⑨吹奏楽の指導など楽器を使ったボランティア ⑩発達気になる子どもなどの相談時の託児支援、絵本、おもちゃの貸し出しや遊び場の提供実施	—
73*	北九州市立大学			
74*	長崎県立大学			
75*	熊本県立大学			
76*	大分県立看護科学大学	ボランティアサークル	病院のイベント等の補助	情報提供
77	宮崎県立看護大学			

4. サークル等で実施しているボランティア活動について

震災復興支援に限らず、学生のサークル活動等による日常的なボランティア活動について、大学で把握している情報があれば下記に記載してください。

No.	大学名	活動団体種類 (名称) 団体の性格 (サークル・クラブ・外部団体・インターカレッジ等)	主な活動内容・対象	大学としての関与や課題
78*	宮崎公立大学			
79	沖縄県立芸術大学			
80	沖縄県立看護大学	①全学生 ②美ら笑ばー ③学生チャンプルー ④性・命の達人 キラリサークル	①特別な支援等を必要とする小中学校の生徒を対象にした学習支援ボランティア ②障害や病気のある子供とその家族のための地域ふれあいサポート ③看護・保健・医療関連のイベント(学会、研究会、研修会)のボランティア、地区清掃活動、募金活動など ④中学生から大学生までを対象に、出前講座(ワークショップやブース)による性教育のピア・エデュケーション	①本学と那覇市教育委員会との間で協定を締結し、支援活動体制を構築している。課題は、授業、実習等で学生がボランティアできる時期が限られているため、ボランティア派遣依頼があっても、派遣できないことがある。 ②顧問の教員が患児の保護者やその支援者(個人、組織)との窓口役を担当している。活動の場として、体育館(月2回)を提供している。 ③沖縄県看護系大学・学生コンソーシアムの本学の受け皿となっているサークルで、複数の教員が学生の主体的な活動を支援している。 ④複数の教員が顧問として、他校との窓口役を担当している。大学祭、保健関連の授業など、活動の場は充実・拡大している。
81*	名桜大学			

5. その他、学生ボランティア、またそれ以外の復興支援事業に関し課題とお考えのことがあれば記入ください。

例)事業内容、大学の関与、経費、安全面等

No.	大学名	内容
1*	札幌医科大学	
2	釧路公立大学	
3*	公立ほこだて未来大学	特になし
4	名寄市立大学	
5*	札幌市立大学	
6*	青森県立保健大学	—
7*	青森公立大学	災害ボランティア参加学生の安全確保
8*	岩手県立大学	【来年度以降の復興支援の取り組み】 災害復興支援センターの活動は、来年度も継続していくこととしているが、新規の対応等については、今後検討することとしている。
9*	宮城大学	学生ボランティア活動は、自主的に「学生が行う」、「大学が支援する」どちらにしても「学生がやりたいこと」、「大学が支援したいこと」をするのではなく、あくまで被災地のニーズにあった活動をする必要があり、震災から8ヶ月経過した現在は、そのバランスがとれていないことが課題であると考えます。
10*	秋田県立大学	学生ボランティア:経費補助、活動に関する事前指導、大学の関与(学生のボランティア活動に対する大学の考え方等)
11*	国際教養大学	—
12*	山形県立保健医療大学	—
13*	福島県立医科大学	大学の関与
14*	会津大学	現地への交通手段をどういった形で支援していくかということが課題です。
15	茨城県立医療大学	
16	群馬県立女子大学	
17	群馬県立県民健康科学大学	—
18*	高崎経済大学	学生サークルのボランティア活動については、今後実態を把握するためにアンケート調査を実施する予定。
19	前橋工科大学	—
20*	埼玉県立大学	—
21	千葉県立保健医療大学	—
22*	首都大学東京	—
23*	産業技術大学院大学	—
24	神奈川県立保健福祉大学	
25*	横浜市立大学	特になし
26	新潟県立看護大学	なし
27*	新潟県立大学	
28*	山梨県立大学	
29*	都留文科大学	—
30	長野県看護大学	・学生の主体的組織の育成 ・学生のボランティア保険の加入

5. その他、学生ボランティア、またそれ以外の復興支援事業に関し課題とお考えのことがあれば記入ください。

例)事業内容、大学の関与、経費、安全面等

No.	大学名	内容
31	富山県立大学	
32*	石川県立看護大学	
33*	石川県立大学	—
34*	金沢美術工芸大学	—
35*	福井県立大学	—
36*	岐阜県立看護大学	
37	情報科学芸術大学院大学	特になし
38	岐阜薬科大学	—
39*	静岡県立大学	—
40*	静岡文化芸術大学	これまで、学生の活動に、個々の教職員や教職員親睦会が支援しているが、今後大学組織としてどのように支援していくのが課題である。
41*	愛知県立大学	大学が越えなければならない課題 ①支援ボランティアと大学教育の関係 ②復興支援に関わる情報収集とネットワーク化 ③費用の捻出方法 ④学生ボランティアの安全確保 当面はこれらを踏まえた組織・体制づくりが必要。
42*	愛知県立芸術大学	学生が積極的にボランティアを行うことは非常に重要なことと考えるが、安全面や学業との関係で大学がどこまで関わるべきかが課題と考える。
43*	名古屋市立大学	特にありません。
44*	三重県立看護大学	学生のボランティア活動については、学生の自主性を尊重しつつ、その活動内容や安全確保等の面では、大学としても一定程度関与していく必要があると認識しています。特に、今回のような被災地の復興支援を行うために大学としてボランティア団を編成するようなケースでは、派遣体制、現地への移動手段、学生の交通費および現地活動費の支援などについて何らかの基準を設けるとともに、その具体的な内容や支援のあり方について検討を行う専門の組織を設置したいと考えています。
45*	滋賀県立大学	学生が個人でボランティア活動する際に、現地のニーズに合った活動内容、安全確保の方策などのための積極的な情報提供が必要である。
46*	京都府立大学	—
47*	京都府立医科大学	—
48	京都市立芸術大学	学生個人が行っている場合の安全面を考えると、ボランティアの期間・ボランティアの内容を把握する必要がある。
49*	大阪府立大学	・健康及び安全に関すること ・経費の負担について
50*	大阪市立大学	より多くの学生が主体的にボランティア活動に参加することができるような大学としての支援の在り方
51	兵庫県立大学	—
52*	神戸市外国語大学	—
53	神戸市看護大学	学生のボランティア活動を支援したいという気持ちはありますが、看護系教員は実習指導、大学院教育などで負担が多く、時間とマンパワー不足が課題と考えます。
54*	奈良県立医科大学	大学の関与、経費
55	奈良県立大学	

5. その他、学生ボランティア、またそれ以外の復興支援事業に関し課題とお考えのことがあれば記入ください。

例)事業内容、大学の関与、経費、安全面等

No.	大学名	内容
56*	和歌山県立医科大学	
57*	島根県立大学	継続的な支援内容と大学の関与
58*	岡山県立大学	—
59*	新見公立大学	
60*	県立広島大学	—
61*	広島市立大学	—
62	尾道大学	
63	福山市立大学	学外からボランティアに参加する学生の募集案内が数多く寄せられてはいるが、内容そのものがボランティアなのかがわかりづらいものもあり、どこからどこまでがボランティアなのかを考慮して対応することが必要。 また、受け入れ先で安全面の措置が適切かつ確実にとられていることも確認しながら対応する必要がある。(実施先でのボランティア保険の加入、費用負担など)
64*	山口県立大学	—
65*	下関市立大学	自主的、個人的活動により復興支援事業に参加する学生の把握に苦慮している。
66	香川県立保健医療大学	—
67*	愛媛県立医療技術大学	<ul style="list-style-type: none"> ・有効な支援を行うために必要な被災地の状況把握 ・事業を行うための経費 ・大学の関与(大学が主体となるか、支援を行う役割をになうのか)
68*	高知県立大学	—
69*	高知工科大学	—
70*	九州歯科大学	特にありません
71*	福岡女子大学	
72*	福岡県立大学	—
73*	北九州市立大学	
74*	長崎県立大学	
75*	熊本県立大学	
76*	大分県立看護科学大学	—
77	宮崎県立看護大学	
78*	宮崎公立大学	
79	沖縄県立芸術大学	
80	沖縄県立看護大学	本学学生への依頼は、小中学校での学習支援から、地域での健康関連行事・イベントのボランティアまで、多岐にわたっている。学生たちは、現場で当事者と出会い、そこでの対話から多くの学びを得ている。しかし、積極的に参加する学生は同じ顔ぶれになりがちで、学年、大学を超えた広がりが十分とは言えない。県内看護系大学3大学の「学生コンソーシアム」は昨年度に組織化されたばかりであり、これからの成長・発展が期待される。今後、学生の主体的活動(大学間交流、地域交流)を、教員間、大学間で支援・共有・推進することが課題の一つである。
81*	名桜大学	